

令和5年度 浜松市立和地小学校

第4回 学校運営協議会

令和6年2月14日(水)

13時30分～15時30分

相談室

会議は14時に始まります。それまで各学級の授業を御自由に御参観ください。

司会：教頭

次 第

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長選出 … (名簿順により中村日出雄さん)
- 4 前回の会議録確認 (教頭)
- 5 熟議 (進行：議長)
 - (1) 学校評価の結果について
 - (2) 来年度の学校運営の基本方針
 - (3) 学校運営協議会の自己評価
 - (4) 夢育やらまいか事業報告
 - (5) 和地っ子応援団について
- 6 連絡
 - ・ 来年度の委員について

○ 和地小学校運営協議会組織

委員一覧

会長	宇津山 茂
委員	松木 和見
副会長	田中 恵子
委員	牧田 眞喜夫
委員・学校支援コーディネーター	松尾 隆廣
委員・学校支援コーディネーター	山本 眞希
委員	中村 日出雄
委員	岡井 保
委員	野中 雄介
委員	山本 奈津美

学校職員

校長	高橋 宏典
教頭	石塚 稚人
主幹教諭・CS担当	大澤 眞一郎
CSディレクター	石野 恵実

○ 本年度の協議会計画

第1回	令和5年5月2日(火) 14:00~15:30
第2回	令和5年7月12日(水) 14:00~15:30
第3回	令和5年10月11日(水) 14:00~15:30
第4回	令和6年2月14日(水) 14:00~15:30

※いずれも、5校時(13:15~14:00)の参観後の開始になります。

学校だより



浜松市立和地小学校 NO. 14

児童数（2月1日現在）

男子：281人 女子：275人

合計：556人

R6. 2. 5

アンケートへの御協力ありがとうございました

11月にはお忙しい中、アンケートに御協力いただきありがとうございました。このアンケート結果をもとに、今後の更なる充実を図っていきます。

児童アンケート（上段・・・1学期末結果 下段・・・2学期末結果）

（A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない）

	質問内容（高学年用を掲載）	A	B	C	D
1	和地小学校が、好きですか。	68%	28%	2%	2%
		61%	35%	2%	2%
2	住んでいる町が、好きですか。	82%	17%	1%	0%
		83%	16%	1%	0%
3	将来の夢やがんばりたいことがありますか。	73%	21%	3%	2%
		69%	25%	2%	4%
4	自分から進んで挨拶をしていますか。	54%	42%	3%	2%
		49%	45%	4%	1%
5	友達のよさを認め、協力して活動していますか。	60%	37%	2%	1%
		64%	34%	1%	1%
6	静かにそうじをすることができましたか。	45%	49%	5%	1%
		38%	55%	5%	2%
7	授業の課題に自主的にとりくめましたか。	53%	44%	2%	1%
		49%	46%	4%	1%
8	友達の考えを受け入れて、 話をきくことができましたか。	55%	42%	2%	1%
		51%	47%	2%	0%
9	友達の考えにつなげて話すことができましたか。	46%	49%	3%	1%
		46%	49%	4%	1%
10	学校の勉強はわかりますか。	55%	39%	4%	1%
		53%	44%	3%	1%
11	早寝・早起きをしていますか。	44%	42%	10%	4%
		38%	51%	7%	4%
12	運動では、めあてに向かって友達と協力して とりくむことができましたか。	59%	38%	2%	1%
		60%	38%	2%	0%
13	大きな病気やけがもなく、安全に生活できましたか。	69%	25%	4%	1%
		63%	32%	3%	2%
14	困ったときや悩んだときに、先生に相談しますか。 （悩みがないときは、Aにつけましょう）	70%	24%	4%	3%
		67%	27%	3%	2%

保護者アンケート（上段・・・1学期末結果 下段・・・2学期末結果）

（A…そう思う B…だいたいそう思う C…あまりそう思わない D…そう思わない）

	質 問 内 容	A	B	C	D
1	お子さんは、進んで挨拶ができますか。	21%	51%	25%	3%
		25%	52%	20%	3%
2	お子さんは、友達と仲良く生活していますか。	45%	51%	4%	1%
		44%	52%	3%	0%
3	お子さんは、授業の内容を理解していますか。	21%	66%	11%	3%
		19%	66%	13%	2%
4	お子さんは、家庭学習（宿題）に進んで 取り組んでいますか。	25%	49%	20%	6%
		25%	46%	21%	7%
5	保護者の皆さんは、困りごとや悩みごとを 教員に相談しますか。 （困りごと等がない場合は、Aに○をお付け下さい。）	47%	43%	8%	2%
		48%	41%	9%	2%
6	保護者の皆さんは、お子さんと 学校のことをよく話しますか。	38%	53%	9%	1%
		36%	55%	9%	1%
7	本校は、学校・学年・保健だよりやHP等で 必要な情報を提供していますか。	40%	57%	2%	0%
		39%	56%	4%	1%
8	本校は、保護者の皆さんに誠実に対応していますか。	50%	49%	0%	0%
		53%	46%	1%	0%

令和6年度 和地小学校 学校経営構想案

1 地域・学校・児童の実態

(創立150周年・創立151年目)

- 浜名湖に面し、川や里山等の豊かな自然に恵まれた地域である。東名高速道路や浜松環状線・館山寺街道等があり交通量も多い。
- 学区は、古くからの和地町、湖東町、大山町、和光町、湖東西に加え、新しく開発された湖東団地、桜台の自治会から成り立つ。団地開発の影響で昭和58年には児童数1076名、平成27年には児童数は998名という大規模校であったが以降減少し、令和6年度は530名(R5比およそ-25)である。
- 令和5年度に創立150年目を迎えた歴史と伝統のある学校である。(R6年度150周年)令和4年度には、CS(学校運営協議会)を設置。熱心な委員の方々を中心に、学校支援の具体が整いつつある。
- 低学年の面倒を見たり、男女ともに仲が良かったり、素直で優しい児童が多い。
- 言われたことにはよく取り組むが、主体的な判断や行動には課題がある。
- 苦しいことや困難にぶつかった時に粘り強く取り組んだり、新しいことに失敗を恐れず挑戦したりして、自分の力で道を切り開こうとするたくましさに欠ける面が見られるが、今後の指導によって改善が期待できる。
- 児童養護施設「わこう」から通学する児童や、発達支援的配慮、個別の学習支援、家庭的環境配慮等が必要な児童が増加している。人との関係の中で傷つきやすい児童も多く見られ、集団に入れない児童、不登校傾向児童は減少してきたが、現在も散見される。

2 湖東中校区のめざす子供像 (「湖東中学校区生き生き人づくり推進構想」)

意欲をもって 学び続ける子

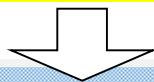
3 校訓

和 “人とつながる、人を大切にする、人と高め合う”
“仲間を信じて 自分を信じて”

4 和地っ子宣言 R5年度 児童運営委員会を中心に子供たちが策定

和の心

- ・友達を大切にして、みんなと仲良くします
- ・あいさつで人と人との絆を結びます
- ・自分から進んで、いろいろなことにチャレンジします
- ・安全と健康に気を付けて、大切な命を守ります
- ・自分たちの住んでいる地域を大切にします



学校教育目標

自ら考え 高め合う

5 学校教育目標と目指す子供像の設定

学校 教育 目標	自ら考え 高め合う ※継続 令和3年度より(4年目) (参考) 令和元年度～2年度 「つながり 高め合う」 平成12年度～30年度 「豊かな心を持ち 自ら学び続ける子」		
合言葉	【徳】 わくわく	【知】 じゅくくり	【体】 こっこつ
目指す子供像	自律し 尊重し合い 共同する子供		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で正しく判断する力を発揮し、時と場に応じた言動をとることができる。 ・自分や友達の良さに気づき、違いを認め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いや課題や目標をもち、主体的に学ぶことができる。 ・共に学ぶ良さを感じながら、高め合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付け、健康的で安全な生活をすることができる。 ・目標に向かって主体的に取り組み、高め合うことができる。
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつに力を入れ、あいさつ運動を継続的に行う。 ○「和地っ子の生活のきまり」の意味・必要性を考えさせ、自発的自律的な行動を称揚する。 ○教育活動全般でいじめ防止・解消の取り組みを推進する。 ○友達と協力し互いに高め合う体験を意図的に仕組み、学校行事・特別活動等に目標をもって取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修を通し個別最適な学び・協働的な学びの実現を目指し、授業改善に努める。 ○学ぶ意欲を高めるために、問い・課題・目標をもたせる単元構想の工夫をする。 ○互いの考えを深めたり自分の考えを適切に表現したりする力の育成のために協働学習・交流学習を積極的に取り入れる。 ○情報を活用する力を身に付けるためにタブレットを積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい生活を送ることができるよう、保健や給食指導を効果的・継続的に行う。 ○健康増進や体力・技能の向上に向け、めあてを持たせ継続的な取組を促し積極的に称揚する。 ○自他の命を大切にする危機回避意識の育成と防災ノートを活用し自助の知識技能の育成を図る。

6 学校校経営の基本方針と3つの柱

学校教育目標の実現のため、学校経営の基本方針と教育活動の3つの柱を挙げる。

◆基本方針◆

- ・創立150年の歴史と伝統によって培われた校風と精神を尊重し、**校訓「和」に込められた精神**、**義務教育期において育みたい自律・尊重・協同の精神**を様々な教育活動において反映させることを意識する。児童には、「わくわく」「じゅくくり」「こっこつ」を合言葉として意識させ、徳・知・体の一体的な育成を目指す。
- ・和地小職員は、**信頼(児童から、保護者から、地域から、職員同士)こそ学校運営の要**であるとの認識を共有し、職務を遂行する。そして、和地小職員の創造性・自発性・英知を結集し、**総持ち・一丸となって**和地小に在籍する子供たちに生きる力を育む。

◆ 3つの柱◆

(1) 授業改善

- ・主体的・対話的で深い学びの実現のため、個別最適な学びと協働的な学びの適切な組み合わせを意識した授業改善に取り組む。
- ・特別活動や教科学習において、キャリア教育で育てたい力（つながる力・ふかめる力・みつめる力・みとおす力）を意図した実践を継続的に行う。

(2) 生徒指導

- ・「ていねい・あったか・あんしん」をコンセプトに、情報共有を大切にし、積極的な発達支持的生徒指導・発達支援をチームで推進する。
- ・児童の特性や発達の段階を踏まえた言葉かけ・対応を心掛ける。
- ・保護者との情報（事実・対応方針等）の共有を図り、家庭と学校の両面で児童を支える。

(3) 地域・保護者との連携協働

- ・社会に開かれた教育課程とするため、保護者・地域・学区幼保小中の連携を大切にし、積極的な情報発信・情報共有に努める。
- ・3年目となるCSを有効（教員の子供と向き合う時間の確保・学校評価・環境整備等）に機能させる体制を構築する。
- ・地域・保護者・外部の声に謙虚真摯に耳を傾け、相互理解を進めながら、指導に還元する。

7 令和6年度教育課程編成におけるポイント

学校経営基本方針及び3つの柱を踏まえ、学校教育目標を具現化する教育課程の編成を行う。特に令和6年度におけるポイントを挙げる。

①教育課程の編成全般

教育目標の実現を目指した教育課程であること。同時に、学校の規模縮小を見越した、実効性・継続性・持続性や職員の負担についても配慮した職員組織・年間行事活動計画・日課を示す。

②知の部

- ・新教科書対応の年間指導計画の作成
- ・新学習指導要領に対応した授業改善の方向性を研推と連動して示す。

③徳の部

- ・150周年、和地っ子宣言、学校行事、児童活動等を連動させた徳育を行う。

④体の部

- ・(R7以降陸上大会、水泳大会廃止を受け) 運動部の今後の在り方を示す。
(体力、身体技能の向上を授業体育で実現していく⇔知の部)

⑤事務部

- ・NBへの対応への方向性を示す（NB導入の可否も含む）

令和6年度 和地小学校グランドデザイン 案

校訓

和

浜松市第3次教育総合計画

- 「未来創造への人づくり」
- 「市民協働による人づくり」
- 《目指す子供の姿》
- 自分らしさを大切にすること
- 夢と希望を持ち続けること
- これからの社会を生き抜くための資質や能力を育むこと
- ☆キャリア教育を核とした人づくりの推進

和地っ子宣言

- ・友達を大切にして、みんなと仲良くします
- ・あいさつで人と人との絆を結びます
- ・自分から進んでいろいろなことにチャレンジします
- ・安全と健康に気を付けて、大切な命を守ります
- ・自分たちの住んでいる地域を大切にします

湖東中学校区目指す子供像

「意欲をもって学び続ける子」

中学校区道徳重点目標

- 「生命の尊さ」
- 「親切・思いやり」
- 「個性の伸長」

学校教育目標

自ら考え 高め合う

めざす子どもの姿

わ じっ こ

自律し尊重し合い協同する姿

具体的取組

徳（わくわく）	知（じっくり）	体（こっこつ）
自分で正しく判断する力を発揮し、場に応じた言動をとることができる	問いや課題、目標を持ち主体的に学ぶことができる	基本的な生活習慣を身に付け健康的で安全な生活を送ることができる
自分や友達の良さに気付き違いを認め合うことができる	共に学ぶ良さを感じながら高め合うことができる	目標に向かって主体的に取り組み高め合うことができる
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに力を入れ、あいさつ運動を継続的に実施する。 ・「和地っ子の生活のきまり」の意味・必要性を考えさせ、自律的な行動を称揚する。 ・教育活動の全てにおいて、いじめ防止の取組を推進する。 ・友達と協力して、互いに高め合う体験を意図的に仕組む、学校行事・特別活動等に目標を持って取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通し個別最適な学び・協働的な学びの実現を目指し授業改善に努める。 ・学ぶ意欲を高めるために、問い・課題・目標をもたせる単元構想の工夫をする。 ・互いの考えを深めたり、自分の思い考えを適切に表現したりするために、協働学習・交流活動を積極的に取り入れる。 ・情報を活用する力を身に付けるためにタブレットを積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送ることができるよう、保健や食に関する指導を効果的・継続的に実施する。 ・健康増進や体力・技能の向上に向け、めあてを持たせ継続的な取組を促し、積極的に称揚する。 ・自他の命を大切にする危機回避意識の育成と防災ノートを活用し、自助の知識技能の育成を図る。

キャリア教育「わじっこ」による教育活動

みつめる

ふかめる

つながる

みとおす

何が①かったか

②ぶんの考えが深まったか

③たえあったか

④これからどう生かすか

ていねい・あったか・あんしん 発達支持的・積極的生徒指導

教育課程を保護者や地域と共有し、つながりを大切にした「連携・協働」

保護者とのつながり

- ◇ 参観会、教育相談等の充実
- ◇ ホームページ、たより、さくら連絡網等を活用した積極的な情報提供
- ◇ 地域・保護者ボランティア等の支援体制の充実

地域とのつながり

- ◎ コミュニティ・スクールを通じた新たな学校運営実践と評価
- ◎ 地域教材・公共施設（産業）・文化施設等の積極的活用
- ◎ 読み聞かせ、学習活動等
- ◎ 地域ボランティアの活用
- ◎ 地域の伝統行事、イベント等への参加推進

幼稚園・中学校とのつながり

- ☆ 中学校区の幼小、小中の交流活動の実施、合同研修の実施
- ☆ 「生き生き人づくり推進協議会」の連携と職員の研修交流
- ☆ 校区「めざす子ども像」共有による幼小中一貫教育の推進

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(和地小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 学校の教育活動について、さらに理解を深め、学校運営に資する活動について熟議を進めていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

第1回の運営協議会で、校長から学校運営の基本方針についての説明があり、教育目標や目指す子供の姿、学校や教職員の様子など、具体的な話を聞くことができた。その上で各委員から意見を出し合い熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

どの委員も和地小学校や和地地区を大切に思っていることが分かり、同じ思いで熟議をすることができた。教職員が多忙な中で「先生方の負担を減らすことが教育活動の充実につながる」との共通認識のもと、教育活動の充実につながる学校支援活動をどのように進めたらよいか熟議をし、登録ボランティア募集につなげることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

今年度から本格的な活動を始めたので、情報発信についてはまだ手探りな感じである。その中で「和地っ子宣言」について新聞に掲載されたり、地区の回覧板で「和地っ子応援団(登録ボランティア)」を募集したりすることができた。ホームページで議事録も閲覧できるが、コミュニティスクールについて知らない保護者は多い。情報発信についてさらなる努力が必要である。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

学校運営に資する活動がより充実したものとなるよう、登録ボランティア制度を軌道に乗せることや、コミュニティスクールを地域や保護者に周知する情報発信について熟議していきたい。